



八幡平小学校 枝豆栽培

5月30日に、八幡平小学校の5年生28人が、授業で枝豆の植え付けを行いました。
児童はグループごとに、植える場所の間隔を木の棒で測りながら、6アールの広さの畑に、丁寧に豆を植えました。児童は「他に手伝うところありますか」と、お互いに声を掛け合いながら、元気に活動していました。

閉会式で、児童は「班の人と協力して丁寧に植えられました。美味しく育ってほしいです」と収穫への期待を話しました。



八幡平山開き

6月1日に、八幡平山頂レストハウスで、鹿角市と岩手県八幡平市合同の八幡平山開き式が行われ、関係者らが入山者の安全や増客を祈願しました。

神事に続いて、本市の佐藤産業部長が「八幡平を訪れる人に、楽しんで満足してもらえよう、魅力アップのための事業を展開していく」とあいさつしました。

両市山岳会は、市旗とピッケルを授与された後、鏡沼を経由して山頂を目指しました。山頂では、展望台の前で鹿角市山岳会と翌檜山岳会（あやづ）でピッケル交換が行われ、万歳三唱などで今シーズンの登山の安全を祈願しました。



サクラマス稚魚放流

6月4日に、米代川用野目橋上流の河川敷で、サクラマスの稚魚放流が行われました。地域の子どもから大人まで40人ほどが参加し、約1万匹の稚魚を放流しました。

参加した子どもたちは、バケツに入ったたくさんの稚魚に驚きながらも、「大きくなって帰ってきてね」「元気でね」と言いながら、丁寧に川へ放流していました。

用野目自治会の工藤会長は「稚魚の放流を通して、河川をきれいにすることや、郷土を愛する気持ちを育ててほしい」と話しました。



まちの話題



練習の成果を披露 鹿角吹奏楽祭

5月22日に、文化の杜交流館コモッセで、第60回鹿角吹奏楽祭が開催されました。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小学生の参加はありませんでしたが、マーチや歌謡曲のヒットソングメドレーなど、演奏者たちはこれまで練習してきた成果を披露したほか、流行りのポップスに合わせたダンスを取り入れるなど、会場を盛り上げ、多くの観客を魅了しました。



柴平小学校・十和田小学校 田植え体験

5月25日に、柴平小学校の5年生35人と十和田小学校の5年生51人が、それぞれ授業で田植え体験を行いました。

田植えの仕方や注意などを聞いた後、児童は裸足で田んぼに入り、「柔らかい」「ぬるぬるする」と泥の感触に驚きつつも、田植えを楽しんでいました。

また、苗がなくなると、元気な声で「なくなりました」「新しいのください」と、他の児童や教師などから新たな苗を受け取り、晴天の下、額の汗をぬぐいながら、一生懸命植えていました。



鹿角市・小坂町 水防訓練

5月29日に、米代川久保田橋下流の河川敷で、水防訓練が行われました。新型コロナウイルスの影響により、3年ぶりの開催となった今回は、参加人数や訓練の数など規模を縮小しての実施となりました。

訓練には、市町の消防団員や自主防災会など約80人が参加し、月の輪工や積み土の工、シート張り工、土のう作製などを一斉に行いました。

参加者は、水防技術や連携方法など、災害時にどのように動くのかを確認し、防災への意識を高めました。



クラウンマルシェ Couronne Marche

花輪朝市で開催



6月4日と5日の2日間にわたり、定期市場「花輪朝市」で「Couronne Marche」が開催されました。

イベントには、約50組の作家が参加し、会場にはハンドメイドのアクセサリや棚、バッグやぬいぐるみといった雑貨に加え、タコスやクレープなどの出店が立ち並びました。アクセサリ作りなどの体験コーナーもあり、両日ともたくさんの方で賑わい、イベントを楽しんでいました。

全国広報コンクール 入選



全国広報コンクールの「広報写真 一枚写真の部」で、令和3年2月号の表紙が入選しました。この結果を受けて、今後も、皆さんの目に留まるような広報づくりに努めていきます。

また、この写真に写っている方には、写真を差し上げますので、ぜひご連絡ください。

政策企画課 政策推進班
☎ 30・0205
Email: seisaku@city.kazuno.lg.jp